

ひとを育てる活動

卒業おめでとう！

— CMIP 奨学生 60 名のうち、14 名が巣立ちました —



大学女性協会(JAUW)東京支部から、将来、自分の村や地域で、女性の地位向上等のために働く学生に奨学金支援をしたいというお話をいただいたのは4年前のこと。教師をめざして、リーダーシップもあったボルル村出身のカルメラを推薦させていただきました。

昨年 11 月のツアー参加者との交流会では、卒業を 4 カ月後に控えて、さまざまな試練を思い出してか、涙、涙の感謝の挨拶をしたカルメラ、この 3 月、無事 GFI 大学の初等教育科を卒業しました。

カルメラを含めて、今回卒業の 3 名(写真右がカルメラ、中央：ダニロ、左：エボニー)は、これから 1 年間、ボランティア教師として、最も遠いナブルに赴任することになっています。また、経営学専攻のダニロを除くカルメラとエボニーは、それぞれの支援者のご協力で、9 月の教師国家試験/LET の受験を予定しています。

LET に合格して公立学校教師になれば、十分な収入を得て、家族を助けながら、地域の子どもと住民指導にあたることができます。カルメラもボルル村の先生として、母親クラブなど女性たちの組織化、栄養衛生指導などに、その指導力を発揮し、JAUW を始め支援者の長い間の支援に伝えてくれると期待しています。

卒業おめでとう！ご支援に感謝！

小学校卒業生 (8 名)		カレッジ卒業 (3 名)	
Andrew G	篠原様	Evonie S.M.	山口様
John Mark S.	西脇様	Danilo B.	平賀様
Rendon M.	金原様	Carmela T.	*前田様
他 HANDS 全体支援 5 名		JAUW 様	
ハイスクール卒業 (3 名)		* JAUW 奨学金は、カルメラの場合は部分支援のため、前田様にもご協力いただきました。もう一人の JAUW 奨学生、今年 4 年になるジェニリンは全額支援をいただいています。	
Kimpy Mark M.	玉置様		
Zaira Jane M.	福田様		
Glenfrey M.	安達様		

ブラクール・チボリ・マノボ民族学校近況から

— PFP 担当・ビビアンさんの報告より —

資金難でしばらく中止していた給食が、HANDS あしなが奨学金の一部充当で再開できて、子どもたちの欠席が減り、何より、すべての子どもの体重増加が確認できて、栄養不良問題はなくなった。

住民組合による学校運営は、資金面で大変厳しく、存続検討のため、2 月のうちに、仮登録受付をしたところ、1-6 年まで 60 名となった。6 月新学期までには前年度並み 70 名になる予定で、教師 4 名と住民組合の役員は、子どもたちの初等教育を支えるため、自主運営財源・学校農園整備に努めている。

あしなが奨学生のサルニは、好成绩で町の奨学金も受けており、6 月には 3 年に進級します。

ブラクールの運営支援と、あしながカレッジ奨学金は元 FOT 会員 20 名により支えられています。78 号でご報告のように、1-2 年後にはゴムの樹液販売収入で、父母の授業料納入率が上がり、学校運営の安定に期待できます。

— 特別奨学金事業・短信 —

<JOFPA 基金・看護師養成奨学生が 3 名になります>



ゴルダ・ミエール
(愛称)
ニクニック

ムスリム学生モナリサとジュハラに加えて、今年は SCMSI ハイスクールを 3 月に卒業したゴルダ・ミエールも奨学生となりました。英数国の平均点 91 と好成绩で、学力面の心配はありませんが、双子の妹も進学の手配で、家計は大変です。ムスリム学生 2 人を含めて、父母の負担軽減のため、今年度は 600 ペソ増やして月額 4600 ペソ支給します。

<医大 3 年になる奨学生アン、レイクセブ町長も応援>

円安の昨年度は 50 万円を超えた授業料支援を続けて下さる元 JOFPA 里親・宮崎さんに加えて、町長もレイクセブ初のチボリ人医師誕生に期待し、父母の要請に応え、町の奨学金支援を決めました。寝る間も惜しんで勉強しているというアンからは、友人が撮影した大学の図書館でのうたた寝写真が届きました。(紙面の関係で掲載は省略いたします)

CMIP からナブルの教室増設の協力依頼

開校 5 年目の今年、1-6 年まで揃った地域の初等教育の中核校になるナブル・カマガヤ小学校の教室増設資金の要請が CMIP から届きました。鎌ヶ谷の ICECK からのご協力いただいておりますが、あと 30 万円ほど足りません。ご関心ある方、事務局までお問い合わせ下さい。